

ラストワンマイル・モビリティ／自動車DX・GXに関する検討会
これまでの議論について

国土交通省 自動車局
令和5年4月25日

検討会開催経緯と検討会における議論

交通政策審議会 交通体系分科会 地域公共交通部会 中間とりまとめ（令和5年2月28日）（抄）

6.さらなる課題

● 交通不便地域における改善策（直ちに検討開始）

- ▶ 持続可能で利便性の高いタクシー、デマンド交通、自家用有償旅客運送等の確保に向けた制度・運用の改善

タクシー

第1回検討会 資料2・19頁より

- 人口減少等を背景に、現在のタクシー規制は必ずしも地域実情等に即したものとなっていない。また、タクシーは最も身近で安全なラストワンマイル・モビリティとして地域公共交通の確保に寄与してきたものの、人手不足等を背景に供給力が落ち、地域の輸送ニーズに応えられなくなっている。今後もタクシーが身近で安全なラストワンマイル・モビリティとして継続的・安定的にその役割を果たしていくための環境整備が必要ではないか。

乗合タクシー等

- タクシーとバスの中間的な存在として、きめ細やかな移動ニーズに効率的かつ機動的に応えることのできる乗合タクシー等のニーズが高まっている。今後このようなニーズに対して十分に伝えていくための環境整備が必要ではないか。

自家用有償旅客運送

- バス・タクシーを補完するものとして自家用有償旅客運送が円滑に導入されるよう、これまでも制度・運用の見直し（R2法改正等）を図ってきたが、十分に機能していない場合があるのではないか。
- また、持続可能な運送とするために、運送の実態を踏まえ、改めて制度のあり方について検討が必要ではないか。

これまでのヒアリング・意見交換で明らかになったこと

- バス路線の撤退等により、タクシーや乗合タクシー等への転換が行われるなど、ラストワンマイル・モビリティの重要性は増大。
- 他方、ラストワンマイル・モビリティを担う運転手を含む担い手不足が深刻
- また、移動ニーズの小口化・多様化等により、多様な交通サービスが必要になってきている。